

グッドニュース

GOOD NEWS

年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

特別勘定：世界バランス55TMA

特別勘定レポート

2018年(平成30年) 7月発行

「グッドニュース」特別勘定：世界バランス55TMAの運用期間の満了に伴い、特別勘定での運用を終了するため、今月号で特別勘定レポートは最終号となります。

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。

「グッドニュース」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社の年金受取総額保証付変額個人年金保険GFの商品名です。「グッドニュース」には専用の特別勘定グループが設定されています。



東京海上日動あんしん生命

ご契約者さまへのご案内

- 当資料はご契約者さまに特別勘定の運用状況や運用概況などをお知らせするための資料です。
- 当資料はご契約者さまの運用状況などをご案内する「ご契約状況のお知らせ」とは異なります。ご契約者さまの個別の運用状況は掲載されておきませんのでご了承ください。
- 今回の月次運用レポートは発行月前月末時点の最新データによるものです。
- 各種データの収集、加工のためにデータ基準日からレポートのご提供までお時間をいただいております。何卒ご了承ください。
- 各種変更手続き、積立金額のご照会など、ご契約に関するお問い合わせは下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

テレホンサービス 0120-155-730

受付時間 月～金／9:00～17:00
(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)

- ホームページによる情報提供とサービス

東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ

<http://www.tmn-anshin.co.jp>

ご契約者さま専用ページでは、ログインIDとパスワードを使って、インターネットから住所変更などのお手続きや運用状況の確認を行うことができます。
データは毎営業日に更新されますので、いつでも最新の情報を得ることができます。

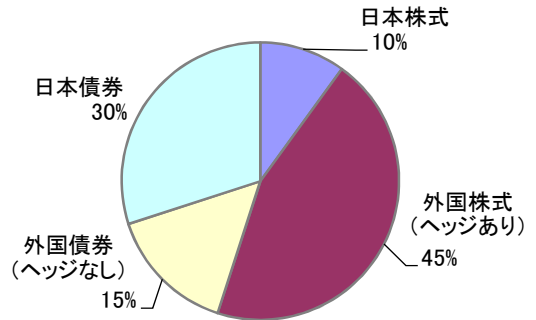
ログインIDとパスワードはご契約者さまご本人において厳重に管理していただき、第三者に開示されることのないようお願い申し上げます。

- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社では、個別の運用に関するご相談は承っておりません。運用のご相談は、担当の代理店・募集人をお願いいたします。

特別勘定の内容

この商品の特別勘定は以下のとおりです。
なお投資対象となる投資信託については、次ページ以降をご覧ください。

種類	総合型	投資対象となる投資信託	TMA世界バランスファンド55VA (適格機関投資家限定)
特別勘定の名称	世界バランス55TMA	運用会社	東京海上アセットマネジメント
特別勘定の設定日	2007年6月14日	資産運用関係費用 (年率) ^(注)	0.27%(税抜0.25%)程度
運用方針	<p>国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>基本資産配分は、日本株式10%、外国株式(ヘッジあり)45%、外国債券(ヘッジなし)15%、日本債券(短期金融資産を含む)30%です。</p>		



(注)資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

特別勘定の運用状況

2018年6月末現在

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2018年6月末現在まで)
2017年6月30日	107.86	0.11%	2.04%
2017年7月31日	108.23	0.35%	1.68%
2017年8月31日	108.11	-0.12%	1.80%
2017年9月30日	109.38	1.18%	0.61%
2017年10月31日	110.83	1.33%	-0.70%
2017年11月30日	111.40	0.51%	-1.21%
2017年12月31日	112.36	0.86%	-2.05%
2018年1月31日	113.35	0.88%	-2.91%
2018年2月28日	111.03	-2.05%	-0.87%
2018年3月31日	109.16	-1.68%	0.82%
2018年4月30日	110.36	1.10%	-0.28%
2018年5月31日	110.39	0.03%	-0.31%
2018年6月30日	110.06	-0.31%	-

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比
投資信託	10	95.7%
現預金その他	0	4.3%
純資産総額	10	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

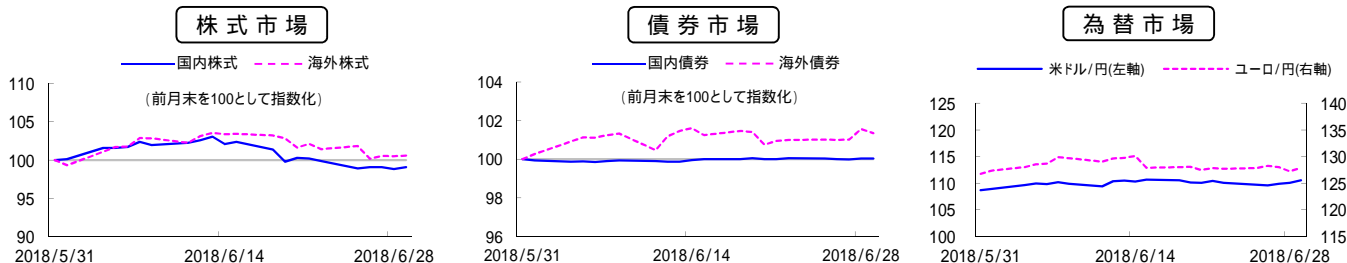
主要指数の動き

	国内株式	国内債券	海外株式	海外債券	為替
参考指数	TOPIX	NOMURA-BP(総合)	MSCIロイヤル指数 (円ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	(円/米ドル) (円/ユーロ)
2018/5/31	1,747.45	382.50	3,057.69	439.03	108.70 円 126.73 円
2018/6/29	1,730.89	382.67	3,075.84	444.97	110.54 円 127.91 円
騰落(変化率)	-0.95%	0.04%	0.59%	1.35%	1.69% 0.93%

海外株式と海外債券の指数は、ファンドの基準価額算定の基準となる期間(2018/5/30～2018/6/28)に対応しています。

主要指数の推移

2018/5/31 ~ 2018/6/29



海外株式と海外債券の指数は、ファンドの基準価額算定の基準となる期間(2018/5/30～2018/6/28)に対応しています。

出所: Factset、ブルームバーグ

6月の投資環境と今後の見通し

国内株式市場

6月の国内株式市場は、金利上昇期待の剥落により株式市場での構成割合が高い銀行株が相対的に大きく下落したことからTOPIXは0.95%下落した一方、日経平均株価は0.46%上昇しました。上旬は、株式市場の波乱要因となっていたイタリアの政局不安が連立政権の発足により収束したことや、好調な米国雇用統計などを背景とした米国株式市場の上昇の影響から、国内株式市場は堅調に推移しました。中旬は、米朝首脳会談の開催を受けて地政学的リスクの後退が意識されたことなどにより株価は高値圏でもみ合いとなりました。その後、トランプ米大統領が中国に対する追加関税の検討を指示したことによる米中貿易摩擦懸念の強まりや、円高米ドル安が進行したことから国内株式市場は下落しました。下旬は、米国が中国資本による対米投資を制限するとの報道から米中間の対立が懸念されたことから、国内株式市場は下値を模索する動きとなり、前月末対比ではTOPIXは下落し、日経平均株価は上昇しました。今後の国内株式市場は不透明な外部環境と企業業績への期待感から、当面は膠着した相場展開が続くと予想します。

海外株式市場

6月の海外株式市場はおおむね横ばいで推移しました。月前半は、5月の米国ISM(供給管理協会)製造業景況感指数が事前予想を上回ったことや、イタリアで新政権が発足して欧州の政治的な不透明感が後退したことなどを背景に、海外株式市場は上昇しました。また、米朝首脳会談の実現による地政学的リスクの後退も株価のサポート材料となりました。月後半は、トランプ米大統領が中国からの輸入品500億ドル相当に25%の関税を課すと発表し、それに対する報復措置を中国政府が発表したことにより、米中貿易摩擦を巡る不透明感が再燃したことから海外株式市場は下落し、前月末対比ではおおむね横ばいとなりました。今後の海外株式市場は、当面の間、米中貿易摩擦や金利動向に左右されるボラティリティ(価格変動性)が大きい展開を予想します。しかし、米国経済は堅調であり、企業業績は引き続き底堅く推移すると予想していることから、海外株式市場は徐々に上昇する展開を想定します。

国内債券市場

6月の国内長期金利(10年国債利回り)は、ほぼ横ばいとなりました。月初、日銀が残存期間5～10年の国債買い入れオペを減額したことを受けて、10年国債利回りは上昇しました。月半ばにかけては、日米欧とも中央銀行の金融政策決定会合を控えて市場参加者が様子見姿勢を強めるなか、10年国債利回りは0.05%を中心とする狭い範囲内で推移しました。FOMC(米連邦公開市場委員会)では、利上げが実施されたものの米国債券市場が底堅く推移したことや、ECB(欧州中央銀行)が2019年夏まで政策金利を据え置くことを発表後、欧米長期金利が低下基調になったことから、日本の10年国債利回りも徐々に水準を切り下げる展開となりました。月下旬以降は、米中貿易摩擦への懸念から株価が下落基調となったこともあり、国内債券市場は底堅く推移し、0.04%近辺の水準で当月を終えました。今後の国内債券市場は、日銀は今後も国債買い入れオペの減額を進めると予想しますが、市場参加者間では織り込み済みの材料であり、債券市場への影響は限定的なものに留まると考えます。また、7月の展望レポートのなかで日銀は物価見通しを下方修正する見込みであり、しばらくの間、現在の緩和的な金融政策の継続が想定されることから、長期金利は当面狭い範囲で推移すると予想します。

海外債券市場

6月の米国債利回りはおおむね横ばいとなりました。月前半は、堅調な米国雇用統計やイタリアおよびスペインの政局不安の後退などから米国債利回りは上昇しました。月央に開催されたFOMCでは事前予想通りに利上げが決定され、年内の利上げ回数予想も上方修正されたことなどから米国債利回りは一段と上昇しました。しかし、その後は米中貿易摩擦懸念の台頭とともに利回りは低下に転じ、前月末対比ではおおむね横ばいとなりました。ドイツ国債利回りは低下しました。月初は、イタリアおよびスペインの政局不安の後退や、ECB要人による金融緩和と政策終了の可能性を示唆する発言などからドイツ国債利回りは上昇しましたが、その後、軟調な経済指標やECBの利上げに慎重な姿勢を背景に利回りは低下しました。月半ば以降も米中貿易摩擦に対する懸念やドイツ政治に対する不透明感などから利回りは低下し、前月末対比ドイツ国債利回りは低下しました。新興国債券と先進国債券のスプレッド(利回り格差)は、米中貿易摩擦に対する懸念などを背景に拡大しました。今後の米国債利回りは、米国の経済成長の加速と物価上昇期待から緩やかに上昇することを想定します。また、ドイツ国債利回りは、ユーロ圏の経済成長を背景に緩やかに上昇することを想定します。

為替市場

6月の米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。月初、堅調な米国雇用統計を背景に円安米ドル高となりました。その後、米中貿易摩擦に対する懸念などから円高米ドル安となる局面もありましたが、月末は原油価格の上昇などから円安米ドル高がさらに進行し、前月末対比では円安米ドル高で月を終えました。ユーロ米ドルはおおむね横ばいとなりました。月前半は、欧州の政局不安の後退などからユーロ高米ドル安となりました。その後、軟調なドイツZEW景況感指数や、ドラギECB総裁が政策金利は2019年夏まで現行水準にとどまる見通しであると示唆したことなどから、ユーロ米ドル高へ転じました。月後半には、堅調なユーロ圏PMI(購買担当者景気指数)などからユーロが買われる局面もありましたが、前月末対比ではおおむね横ばいで月を終えました。今後の米ドル円相場は、米国の経済成長を背景に米国の利上げが意識され、円安米ドル高基調で推移すると予想します。ユーロ米ドル相場は、イタリアやスペインの政局不安が後退した一方でECBの利上げに対する慎重な姿勢を受けて、当面は横ばいで推移すると予想します。

(現地月末ベースです。)

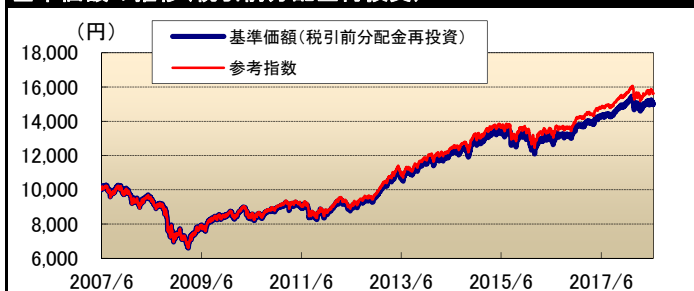
当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

- ・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

TMA世界バランスファンド55VA<適格機関投資家限定>

運用レポート(2018年6月29日現在)

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なることがあります。
参考指数は、設定日の前日(2007年6月13日)を10,000円として表示しています。
基準価額は、信託報酬(税抜0.25%)控除後です。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	15,017円
前月末比	-12円
純資産総額	10百万円
設定日	2007年6月14日
決算日	原則11月10日
信託期間	無期限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1か月 (2018/5/31)	3か月 (2018/3/30)	6か月 (2017/12/29)	1年 (2017/6/30)	設定来 (2007/6/13)
当ファンド	-0.08%	+1.62%	-0.70%	+5.21%	+50.17%
参考指数	-0.10%	+1.62%	-0.48%	+5.51%	+56.28%
差	+0.02%	-0.01%	-0.22%	-0.30%	-6.11%

騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出していますので、実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

分配金情報(税引前)

※分配金は1万口当たり

基準日現在、分配実績はありません。

ポートフォリオ構成

資産 (マザーファンド)	実質 組入比率	基本 配分比率	差
日本株式	9.9%	10%	-0.1%
外国株式	45.1%	45%	+0.1%
日本債券	30.2%	30%	+0.2%
外国債券	15.0%	15%	+0.0%
現金等	-0.2%	-	-0.2%
合計	100%	100%	0.0%

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

※株式には投資証券、投資信託受益証券および新株予約権証券を含む場合があります。
※為替ヘッジに伴う評価損益は、現金等に含まれます。

ファンドの特色

- 主な投資対象 主としてTMA日本株TOPIXマザーファンド、TMA外国株式インデックスマザーファンド、TMA日本債券インデックスマザーファンド、TMA外国債券インデックスマザーファンド受益証券に投資します。
- 投資方針 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産(日本株式、外国株式、日本債券、外国債券)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。TMA外国株式インデックスマザーファンドに含まれる外貨建資産については、円ヘッジすることを原則とします。
- 参考指数 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を各比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資産	指数	比率
日本株式	TOPIX(配当込み)	10%
外国株式(為替ヘッジあり)	MSCIコクサイ指数(円ヘッジベース)	45%
日本債券	NOMURA-BPI(総合)	30%
外国債券(為替ヘッジなし)	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	15%

各マザーファンドのベンチマーク

- 【日本株式】 TMA日本株TOPIXマザーファンド: TOPIX
- 【外国株式】 TMA外国株式インデックスマザーファンド: MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)
- 【日本債券】 TMA日本債券インデックスマザーファンド: NOMURA-BPI(総合)
- 【外国債券】 TMA外国債券インデックスマザーファンド: FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント
URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

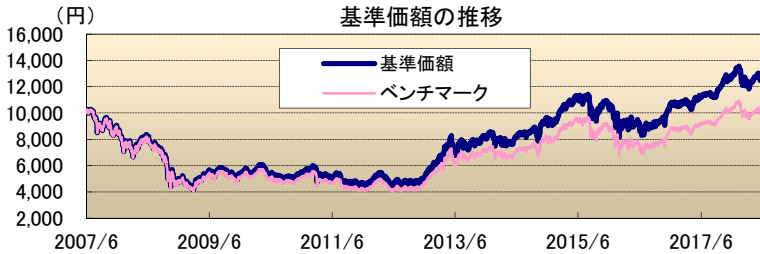
【組入投資信託の運用概況】

TMA日本株TOPIXマザーファンド・TMA外国株式インデックスマザーファンド

2018年6月29日現在

- ・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

◆TMA日本株TOPIXマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1090銘柄)

No	銘柄	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	自動車	3.36
2	三菱UFJ FG	銀行	1.68
3	ソニー	民生用エレクトロニクス	1.46
4	日本電信電話	通信	1.36
5	ソフトバンクグループ	通信	1.36
6	三井住友 FG	銀行	1.24
7	キーエンス	産業用エレクトロニクス	1.18
8	本田技研工業	自動車	1.13
9	KDDI	通信	1.01
10	みずほ FG	銀行	0.96

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-0.78	+24.54
ベンチマーク	-0.95	-0.86
差	+0.17	+25.40

純資産総額

51,950 百万円

※ベンチマークはTOPIXです。

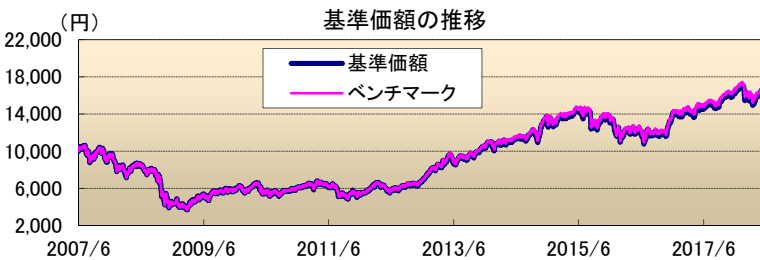
※TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	8.93
2	産業用エレクトロニクス	7.30
3	基礎素材	6.53
4	銀行	6.40
5	機械	6.20
6	医薬品・ヘルスケア	6.15
7	建設・住宅・不動産	5.66
8	運輸	5.31
9	通信	4.52
10	食品	4.49

※組入上位10銘柄・組入上位10業種は、マザーファンド(TMA日本株TOPIXマザーファンド)ベースです。※業種名は、弊社独自の21業種分類です。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。※株式には、新株予約権証券を含む場合があります。

◆TMA外国株式インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+0.77	+62.23
ベンチマーク	+0.59	+65.44
差	+0.18	-3.21

純資産総額

10,246 百万円

※ベンチマークは、MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)です。

※MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIの許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCIは当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 889銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.39
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.85
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	小売	1.79
4	FACEBOOK INC-A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.18
5	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.92
6	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.91
7	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.87
8	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.85
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.84
10	BANK OF AMERICA CORP	アメリカ	銀行	0.71

組入上位10カ国

No	国名	比率(%)
1	アメリカ	62.17
2	イギリス	6.48
3	フランス	3.94
4	カナダ	3.56
5	ドイツ	3.36
6	スイス	2.70
7	オーストラリア	2.68
8	香港	1.33
9	オランダ	1.27
10	スペイン	1.06

組入上位10業種

No	業種	比率(%)
1	ソフトウェア・サービス	10.75
2	銀行	8.25
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.29
4	エネルギー	6.86
5	資本財	6.73
6	小売	4.72
7	ヘルスケア機器・サービス	4.52
8	食品・飲料・タバコ	4.48
9	素材	4.46
10	各種金融	4.26

※組入上位10銘柄・組入上位10カ国・組入上位10業種は、マザーファンド(TMA外国株式インデックスマザーファンド)ベースです。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

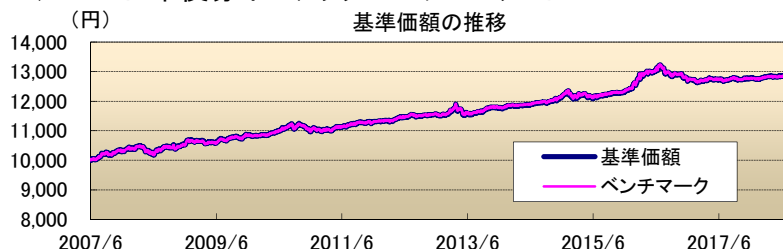
設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

TMA日本債券インデックスマザーファンド・TMA外国債券インデックスマザーファンド

- ・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

◆TMA日本債券インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+0.09	+28.64
ベンチマーク	+0.04	+28.52
差	+0.05	+0.13

純資産総額

5,985 百万円

※ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)です。
 ※NOMURA-BPI(総合)とは、野村證券が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成績等に関し、何ら責任を負うものではありません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:93銘柄)

債券種別比率

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第51回利付国債(20年)	2.00	2021/06/21	4.09
2	第135回利付国債(5年)	0.10	2023/03/20	3.04
3	第67回利付国債(20年)	1.90	2024/03/20	2.79
4	第327回利付国債(10年)	0.80	2022/12/20	2.61
5	第52回利付国債(20年)	2.10	2021/09/21	2.51
6	第33回道路債券	2.91	2034/06/20	2.29
7	第74回利付国債(20年)	2.10	2024/12/20	2.29
8	第343回利付国債(10年)	0.10	2026/06/20	2.28
9	第100回利付国債(20年)	2.20	2028/03/20	2.23
10	第43回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	2.30	2027/10/29	2.01

種別	比率(%)
国債	78.62
地方債	5.32
政保・特殊債	6.12
金融債	-
事業債等	9.60

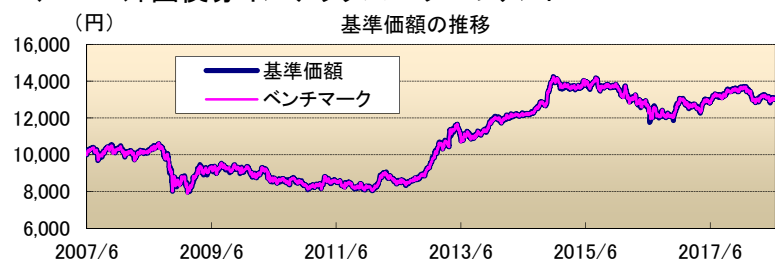
ポートフォリオの状況

平均最終利回り(複利、%)	0.14
平均クーポン(%)	1.58
平均残存年数(年)	10.13
平均修正デュレーション	9.08

※組入上位10銘柄・債券種別比率・ポートフォリオの状況は、マザーファンド(TMA日本債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

※ポートフォリオの状況は、途中償還などを考慮して計算しています。

◆TMA外国債券インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+1.50	+30.86
ベンチマーク	+1.35	+30.61
差	+0.14	+0.26

純資産総額

10,652 百万円

※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。
 ※FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:261銘柄)

通貨別比率(組入上位5通貨)

No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	2.500	2023/08/15	米ドル	1.74
2	米国債	3.500	2020/05/15	米ドル	1.58
3	米国債	1.375	2020/02/29	米ドル	1.53
4	米国債	2.000	2022/02/15	米ドル	1.52
5	米国債	1.750	2022/02/28	米ドル	1.51
6	米国債	1.500	2020/07/15	米ドル	1.42
7	米国債	1.125	2019/12/31	米ドル	1.32
8	米国債	2.250	2024/11/15	米ドル	1.31
9	米国債	1.625	2022/08/15	米ドル	1.29
10	米国債	2.000	2025/02/15	米ドル	1.28

通貨	比率(%)
米ドル	42.23
ユーロ	37.86
英ポンド	6.57
オーストラリア・ドル	2.03
カナダ・ドル	1.98

ポートフォリオの状況

平均最終利回り(複利、%)	1.87
平均クーポン(%)	3.12
平均残存期間(年)	9.06
平均修正デュレーション	7.06

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況は、マザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保障するものではありません。

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項目	内容	費用	備考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率 2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率 0.27% 程度 (税抜0.25%程度)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.27%程度/365日 を乗じた額を毎日控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0% 以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて


この商品のご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。

この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ  0120-155-730 受付時間 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	---